

令和 8 年度 専修大学 文学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

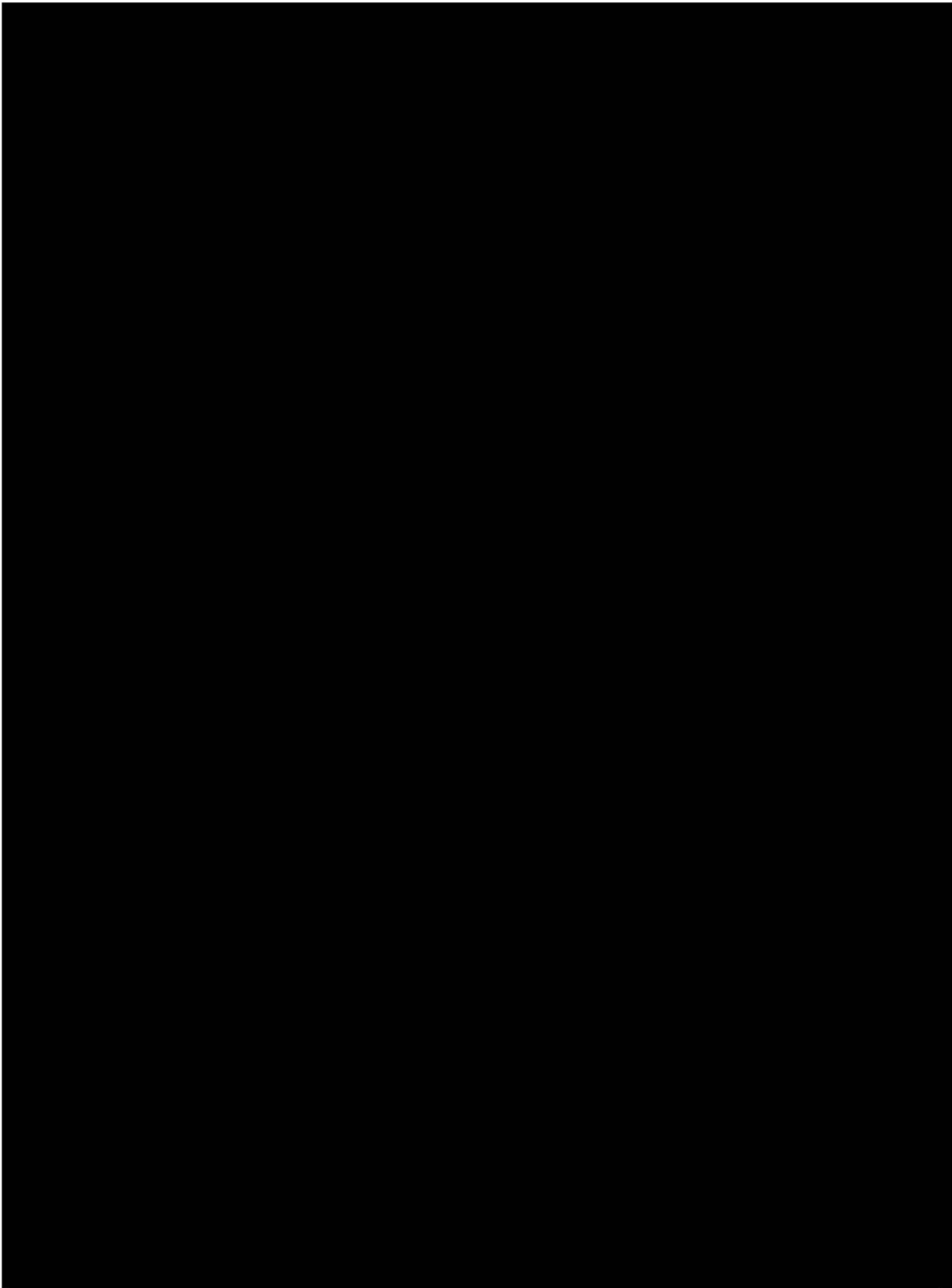
科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の英文の概要を日本語 400 字以内でまとめよ。



出典: The Japan News (<https://japannews.yomiuri.co.jp/sports/sumo/20250724-271413/>)

専修大学大学院 文学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

[illegible]

20

400

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和 8 年 2 月 2 8 日 (土) 実施

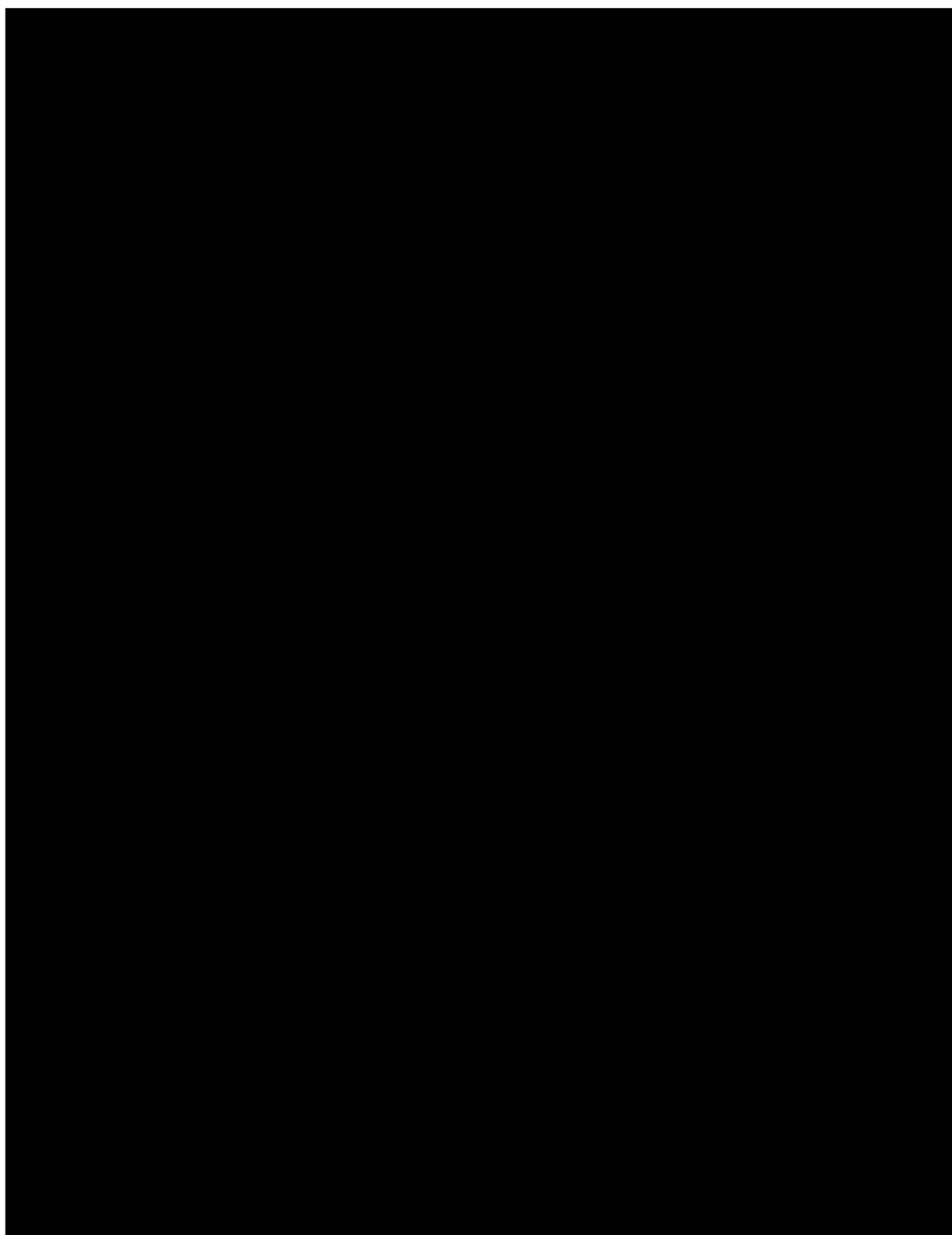
科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の英文の概要を日本語 400 字以内でまとめよ。



出典：THE ASAHI SHIMBUN (<https://www.asahi.com/ajw/articles/16224402?msocid=214639a68665680e27742f18876a69ca>)

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般入試)

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の英文の概要を日本語で 400 字以内でまとめよ。



出典：New York Times

(<https://www.nytimes.com/2024/07/18/us/politics/trump-speech-tonight-rnc.html>)

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和 7 年 2 月 22 日 (土) 実施

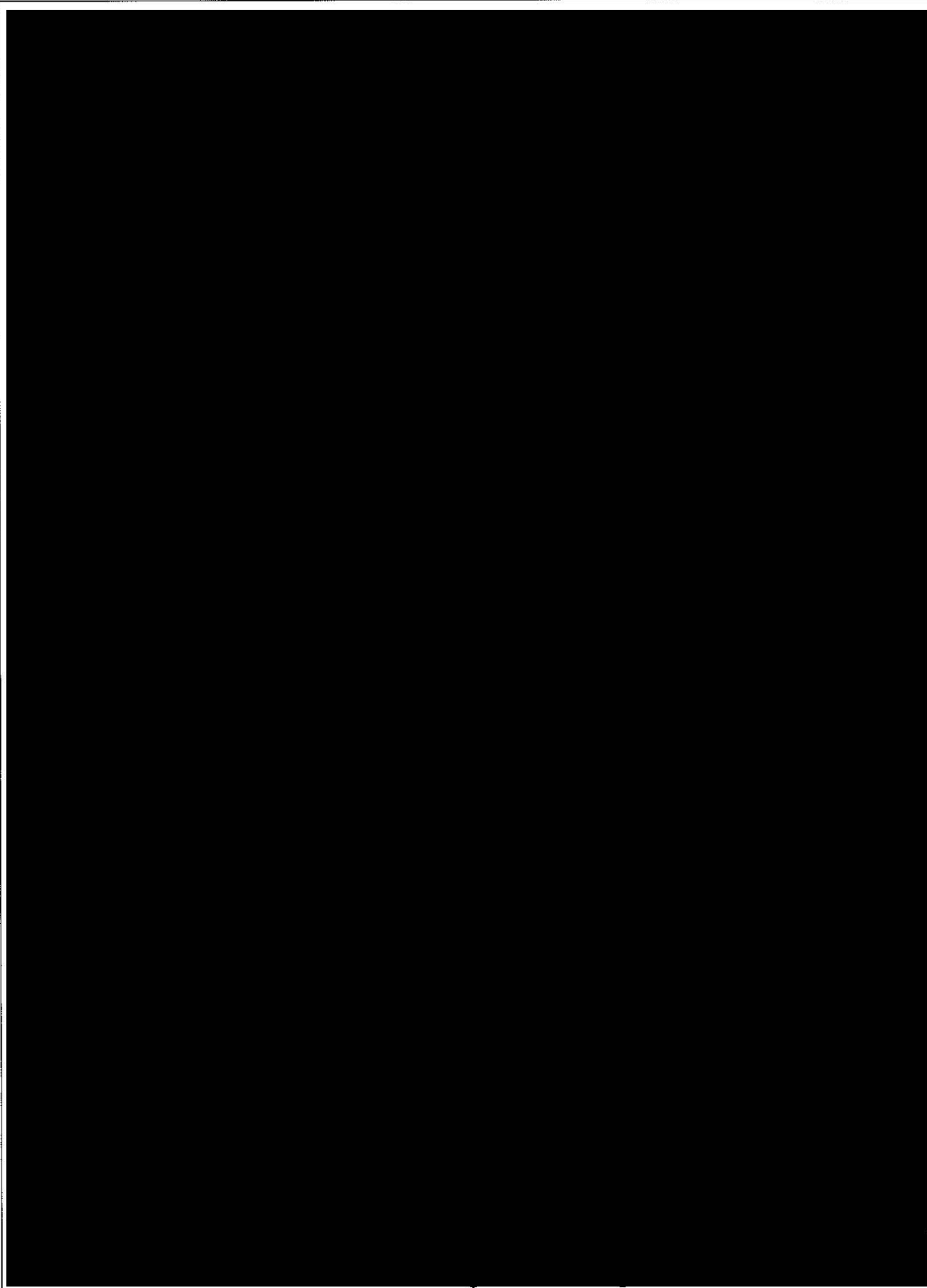
科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の英文の概要を 400 字～800 字でまとめよ。その際に、新たに導入された規制の内容と目的を含めること。



出典：CNN (<https://edition.cnn.com/travel/mount-fuji-japan-visitor-cap-tourist-tax-intl-hnk/index.html>)

令和 8 年度 専修大学 大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

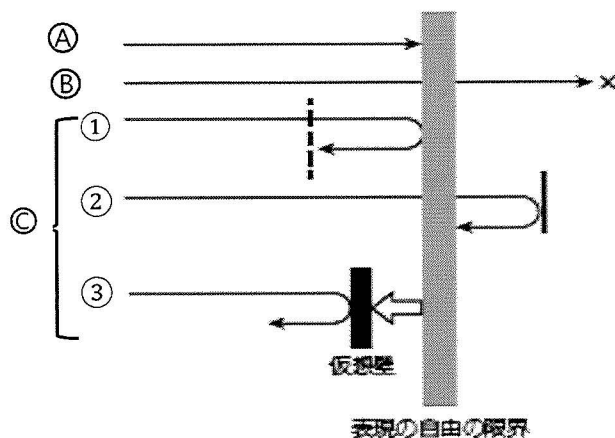
【解答は別紙解答用紙へ】

以下の (1) から (4) のうちから 1 つ選択し、別紙に解答しなさい。(1) から (3) を選択した場合は、(ア) と (イ) の両方を必ず解答すること。解答用紙には、選択した問題番号を () 内に記入しなさい。

(1) ジャーナリズム研究領域の論述

(ア) 下の図は、表現の自由の特徴を図式的にあらわしたモデルです。

一番上④の→は、ちょうど限界一杯まで自由を行使した表現行為をあらわし、2 番目③の→は、その限界を超えた場合に罰せられる (X) ことを示しています。それでは、その下②の三つの①～③の→は、それぞれどのような状況をあらわしているのか、図解に該当すると思われる具体的な事例をあげながらひとつずつ説明しなさい。



(イ) 新聞やテレビといった、いわゆる伝統的なメディアと、SNS に代表されるようなインターネットの上での表現には、それぞれのメディア特性を反映してどのような違いが生じるでしょうか。それぞれについて 2 つ以上の事例をあげて、自由に述べなさい。

(2) アーカイブ研究領域の論述

(ア) アーカイブを担う MLA (博物館・図書館・文書館) の職員の専門性について、博物館学芸員、図書館司書、文書館アーキビストのうちから 1 つを選び、具体的に論じなさい。

(イ) 近年、アーカイブを担う公立の MLA (博物館・図書館・文書館) の管理・運営をアウトソーシングするケースが増えています。自身が研究対象とする施設 (MLA のいずれか 1 つ) の立場で、アウトソーシングの現状と課題を具体的に論じなさい。

令和 8 年度 専修大学 六学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

(3) スポーツインテリジェンス研究領域の論述

- (ア) トップアスリートの国際的な活躍は、単に競技成績にとどまらず、社会に対して多面的な影響を与えています。以下のキーワードを4つ以上用いながら、トップアスリートの活躍が現代社会にもたらす効果について、具体的な事例を挙げて論じなさい。

キーワード：ロールモデル、社会的連帯、メディア、スポーツ振興、帰属意識

- (イ) 近年、アスリートのメンタルヘルス支援の重要性が国際的に強調されています。競技力の向上を追求する中で、アスリートが直面する心理的負荷やメンタル不調の要因は多様化しており、その対処には専門的かつ多角的な支援が求められます。

以下のキーワードを4つ以上用いながら、アスリートがメンタル不調に陥る主な原因を2つ挙げ、それぞれに対する適切なサポート方法について、具体的に論じなさい。

※対象とするアスリートの競技種目・年齢・競技レベルは自由に設定して構わない。設定したアスリート像は、解答冒頭に明記すること

キーワード：プレッシャー、セカンドキャリア、サポート体制、セルフモニタリング、心理的安全性

- (4) 事前に提出したあなたの成果物や職務実績について、どのような取材・調査をもとに、どのような「新しい発見」があったのかを論じ、そのうえであなたの職務経験から導かれるジャーナリズムの課題について論じなさい。

※ (4) を選択する者は、必ず成果物、職務実績等を出願時に提出していることが条件です。

専修大学大学院 文学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
專 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

() ← 解答する項目番号を必ず記入してください。

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和 8 年 2 月 28 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

以下の(1)～(4)のうちから1つを選択し、解答用紙に論述しなさい。解答用紙には選択した(1)～(4)の問題番号を()内に記入しなさい。(1)～(3)を選んだ場合は①②の両方に必ず解答すること。
なお(4)は成果物、職務実績等を出願時に提出している受験者のみが選択できます。

(1) ジャーナリズム研究領域論述問題

- ①選挙期間中の偽・誤情報の拡散が大きな社会問題になっています。具体的にどのような弊害が発生していますか。また、そのための対応策としてどのようなことが実施され、その効果は出ていますか。できるだけ具体的事例をあげながら述べなさい。
- ②ジャーナリズム活動においては、取材・報道行為に「危険」が伴うことが避けられません。それでも、ジャーナリスト個人や報道機関が危険地に赴いたり、報じたりすることに意義があるとすればどのようなものでしょうか。できるだけ具体的な事例をあげながら述べなさい。

(2) アーカイブ研究領域論述問題

- ①アーカイブを担うMLA(博物館・図書館・文書館)の社会的意義について、博物館、図書館、文書館のうちから1つを選び、具体的に論じなさい。
- ②公立図書館は「図書館法」において「入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない」と規定されています(第17条)。この規定が「図書館法」に設けられた歴史的な背景とこの規定の今日的な意義について、具体的に論じなさい。

(3) スポーツインテリジェンス研究領域論述問題

- ①スポーツ界におけるインテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)の確保は、スポーツ活動の基盤とされています。以下のキーワードを4つ以上用いながら、現在のスポーツ界において、スポーツ・インテグリティの確保が必要な理由について、具体的な事例を挙げて論じなさい。
キーワード:ドーピング(アンチ・ドーピング)、選手の安全・健康管理、ハラスメント、フェアプレー、インテグリティ教育、ガバナンスコード
- ②近年、スポーツパフォーマンスの向上には、競技力そのものだけでなく、身体的・精神的・社会的要因を総合的に整える「トータルコンディショニング」の重要性が強調されている。以下のキーワードを4つ以上用いながら、トータルコンディショニングがアスリートにとって不可欠である理由を、具体的な事例を挙げて論じなさい。
キーワード:ハイパフォーマンス、体力要素、栄養・食事管理、メンタルトレーニング(心理的スキル)、障害予防(外傷・障害リスク管理)、回復(リカバリー)戦略

(4) 事前に提出したあなたの成果物や職務実績について、どのような取材・調査をもとに、どのような「新しい発見」があったのかを論じ、そのうえであなたの職務経験から導かれるジャーナリズムの課題について論じなさい。

※(4)を選択する場合は、成果物、職務実績等を出願時に提出していることが条件です。

専修大学大学院 文学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般入試)

令和 8 年 2 月 2 8 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

() ← 解答する項目番号を必ず記入してください。

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般入試)

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

以下の(1)から(4)のうちから1つ選択し、解答用紙に述べなさい。(1)から(3)を選択した場合は、①と②の両方を必ず回答すること。解答用紙には、選択した問題番号を()内に記入しなさい。

(1) ジャーナリズム研究領域の論述

- ① 選挙期間中の表現活動について、立候補者の選挙活動と、マスメディアの選挙報道に分け、特徴を論じなさい。
- ② 調査報道と発表報道、それぞれの長所短所を、できるだけ具体的事例に言及しつつ論じなさい。

(2) アーカイブ研究領域の論述

- ① アーカイブを担う MLA(博物館・図書館・文書館)では、デジタルミュージアム、電子図書館、デジタルアーカイブなどのデジタルサービスの導入が進みつつあります。自身の研究対象とする施設の立場で、デジタルサービスの意義と課題を具体的に論じなさい。
- ② いわゆる「MLA 連携」について、自身が研究対象とする施設の立場で具体的に論じなさい。

(3) スポーツインテリジェンス研究領域の論述

- ① 「ジュニアユース世代(※)のコーチング」において、心技体のそれぞれで留意すべき点について、以下のキーワードを参考に、具体的な種目を取り上げて説明しなさい。

キーワード: 発育発達、性差、コーチングスキル、育成、トレーニング

※18 歳までの年代を指す

- ② 「アスリートのコンディショニング」について、具体的な種目を取り上げ、以下のキーワードを全て使って説明しなさい。

キーワード: 超回復、ハイパフォーマンス、目標、リカバリー、ピリオダイゼーション、オーバートレーニング、栄養、トータルコンディショニング

(4) 事前に提出したあなたの成果物や職務実績について、どのような取材・調査をもとに、どのような「新しい発見」があったのかを論じ、そのうえであなたの職務経験から導かれるジャーナリズムの課題について論じなさい。

※ (4) を選択予定の者は、必ず成果物・職務実績等を出願時に提出していることが条件です。

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和7年2月22日(土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

以下の(1)から(4)のうちから1つ選択し、解答用紙に述べなさい。(1)から(3)を選択した場合は、①と②の両方を必ず解答すること。解答用紙には、選択した問題番号を()内に記入しなさい。

(1) ジャーナリズム研究領域の論述

① 日本の放送制度の特徴を、以下の用語を使って自由に論じなさい。なお、使用する順番は問いません。

[免許、民間放送(民放)、政治的公平さ]

② 選挙におけると SNS と伝統的なメディアの関係を、以下の用語を使って自由に論じなさい。なお、使用する順番は問いません。

[兵庫県知事選、公職選挙法、出口調査]

(2) アーカイブ研究領域の論述

① アーカイブを担う MLA(博物館・図書館・文書館)では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等の法整備を受けて、障害者へのサービスを強化している。自身の研究対象とする施設(MLA のいずれか 1 つ)の立場で障害者へのサービスの現状と課題を具体的に論じなさい。

② 近年、「学習指導要領」等において、学校と MLA の連携が重視されている。その背景と意義について、自身が研究対象とする施設(MLA のいずれか 1 つ)の立場で具体的に論じなさい。

(3) スポーツインテリジェンス研究領域の論述

①「発育発達期におけるコーチング」において、心技体のそれぞれで留意すべき点について、以下のキーワードを参考に、具体的な種目を取り上げて説明せよ。

キーワード:発育発達、性差、コーチングスキル、育成、トレーニング

②「ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ」について、以下のキーワードを全て使って説明せよ。

キーワード:ハイパフォーマンス、ライフパフォーマンス、コンディショニング、科学的エビデンス、トップアスリート、知見の還元、ライフステージ

(4) 事前に提出したあなたの成果物や職務実績について、どのような取材・調査をもとに、どのような「新しい発見」があるのかを、あるいはあなたの職務経験から導かれるジャーナリズムの課題について論じなさい。

※ (4) を選択予定の者は、必ず成果物・職務実績等を出願時に提出していることが条件です。